

令和4年度 大分県がん診療連携協議会 PDCAサイクルの情報共有・相互評価シート

病院名		番号	
大分大学医学部附属病院		12	
分類 (該当を選択)	12. 相談支援センター		
計画事項(P)	<p>診断早期からがん患者・家族へがん相談支援センターの周知を行い、院内の医療従事者と連携してがん患者・家族の支援を行う</p> <p>1) 対象となる診療科の状況を把握した上で、運用方法を検討し、新規がん患者に「がんと診断されたあなたに知ってほしいこと(冊子)」を配布する</p> <p>2) 関連部署のがん患者のカンファレンスに参加し、必要な支援を検討する</p> <p>3) 相談事例を検討し、院内医療従事者にアプローチする方法をがん相談支援センター内で検討する</p>		
実施状況(D)	<p>1) 診断初期の患者に対する各外来の対応状況について確認した。診療科の特性に応じた配布方法を医師と相談し、6診療科で配布を開始した。</p> <p>2) 看護管理者にカンファレンス参加依頼を行い、4部署計7回参加し、がん専門相談員の立場から支援の検討を行った。</p> <p>3) 院内相談事例を検討した。がん相談支援センターの周知の必要があると判断し、連携頻度が多い、看護師向けに『がん相談支援センターだより』を発行した。</p>		
評価(C)	<p>1) 国立がん研究センターが「がんと診断されたあなたに知ってほしいこと(冊子)」を発行したことを機会に、新規がん患者にがん相談支援センターを周知することができた。全診療科での配布に至っていないため、次年度継続する。</p> <p>2) 部署のカンファレンスに参加することで、がん相談支援センターの役割を看護師に伝達したり、がん専門相談員として助言したりする機会になったと評価する。</p> <p>3) 『がん相談支援センターだより』を発行することで、情報発信できた。継続的な情報発信は必要と考える。</p>		
改善(A)	<p>がん患者・家族、および院内医療従事者への広報周知活動を継続する。既存の広報資料を見直し、検討する。</p> <p>診断初期のがん患者への冊子配布については、配布する診療科の拡大を目指す。</p>		
備考			継続
			終了